



UCI ワールドチーム直下、若手中心の育成チーム。2023 シーズンは6名の日本人選手が所属。

ツール・ド・フランスが閉幕 サイクリング世界選手権へ

7月1日から3週間にわたり熱戦を繰り広げてきた世界最大のロードレース「ツール・ド・フランス」が23日、パリ・シャンゼリゼ大通りにフィニッシュする第21ステージをもって閉幕。約3500kmにおよぶ、壮大な大会がフィナーレを迎えました。

EFエデュケーション・イージーポストは大会初日にエースのリチャル・カラパス、その後も2選手が負傷によりリタイア。中盤からは5選手での闘いとなり、今回は大きな勝利には恵まれませんでした。それでも山岳賞ジャージをかけて、果敢に挑んだニールソン・パウレスをはじめ、全選手が勝利をめざしベストを尽くした3週間でした。

8月3日からは史上初の試みとなる全ての自転車競技の世界選手権を同時に行う「UCI サイクリング世界選手権」がイギリス・グラスゴーにて開催されます。日本代表として、U23 ロードレース（8月12日）・タイムトライアル（8月9日）に留目夕陽（EFエデュケーション・NIPPO）が出走する予定です。



EFエデュケーション・NIPPOは現在チェコ遠征中。23日に開催されたワンディレースに続き、27日から4日間にわたって開催される「チェコツアー (UCI2.1)」に出場。日本人選手は仮屋和駿と留目夕陽が出走。留目はシーズンの大きな目標である、世界選手権出場が控えており、ここで最終調整を行っていきます。



19ヶ国、30選手が所属する世界トップカテゴリーのUCIワールドチーム。



最終ステージは、2024パリ五輪のトラック・BMX競技の会場となる郊外のサン＝カンタン・アン・イブリーヌからシャンゼリゼを目指す平坦ステージ。ルーブル美術館やコンコルド広場、凱旋門を選手たちが駆け抜けました。



アルザス地方の小さな集落。色とりどりに飾りつけがされ、街をあげて歓迎！



3週間闘い抜いた5名の選手たち。左からコルト、ウラン、ベッティオール、パウレス、アマドール。パウレスは合計12日間山岳賞ジャージを着用しました。

MORE INFO > <https://teamnippo.jp>